

# THE.リアルタイム

発行者 サポートセンター連 広報担当 横浜市旭区柏町59-2 Tel 045-360-9778 Fax 045-360-7004

社会福祉法人 訪問の家 ホームページ <http://www.houmon-no-ie.or.jp/>

旭区地域自立支援協議会 ホームページ <http://asahiku-net.com/>



年頭「あなた」の謹賀新年の挨拶を申し上げます。

昨年「2020年」は、何と云っても新型コロナウイルスの、世界的な流行に翻弄された一年でした。また記憶に新しいのは昨年4月、日本で初めて発令された「緊急事態宣言」国民に対して「密閉」「密集」「密接」という「3密」の回避及び、人が密集する経済活動に対して休業するよう、国から強い自粛要請がありました。それにより私たちが、今まで経験したことのない行動制限とあわせて、当り前だった「普通」の暮らしが送れなくなりました。いつ、どこで、誰に感染するか分からない、まさに見えないウィルスの脅威を常に抱えながらの一年だったのではないのでしょうか。

また、「コロナ」の長期化は経済状況にも大きな影響が出ており、仕事を失う人の問題や、減少傾向にあった自殺者が増加していることなど、経済的困窮や孤立を深めている方が急増している状況が伺われます。悩みを打ち明けるところを不名誉と捉えるのではなく、弱さや苦悩を打ち明けても問題がない社会・文化をどう作っていくか、今まさに問われています。

そして、「コロナ禍」における、私どものような福祉現場の状況はというと、まず人と人との距離が近くなければ成り立たず、密接にかかわることが前提の仕事となります。そして、障害のある利用者さんの中には、免疫力が低い方たちも多いため、マスク着用や密閉した感染防止対策のあり様が、命の危機に直結するところになります。そういった感染リスクの高い環境の中で、当初は職員も利用者さんともびくびくしていた状況が続きました。しかし、時間の経過と共に少しずつ新しい形、「出来ないこと」の中で「出来ること」を見つけていくといった前向きな姿勢に変わってきました。

福祉は、障害の方や高齢の方にとって不可欠なインフラと言われます。それは、水を飲まなければ生きていけないのと同じように、福祉が崩壊してはいけないのだと、私たち自身の役割・使命をあらためて確認することができました。

さて、「コロナ」でしばらく貸出しを閉じていた連の地域交流室ですが、6月の再開の際に、久しぶりに地域の方が来館してくれたときの「感動」が忘れられません。連はやっぱり、利用者さんと職員だけの空間ではダメなんだ・・・そこに地域の方が自然と存在してくれる空間、そんなあたりまえの姿の大切さ、尊厳を感じるようができました。

未だ収束の兆しが見えず、今後も厳しい局面が続くかと思われれます。しかし、「こんな時だからこそ」と、人とのつながりや新しい「試み」を大切にしたいという声、動きも出ています。怖がるのは「ウイルス」であって「人」ではありません。私たち一人一人が「できること」を通して、この局面を乗り越えていきたいと考えています。

本年も同卒、よろしくお願ひ申し上げます。

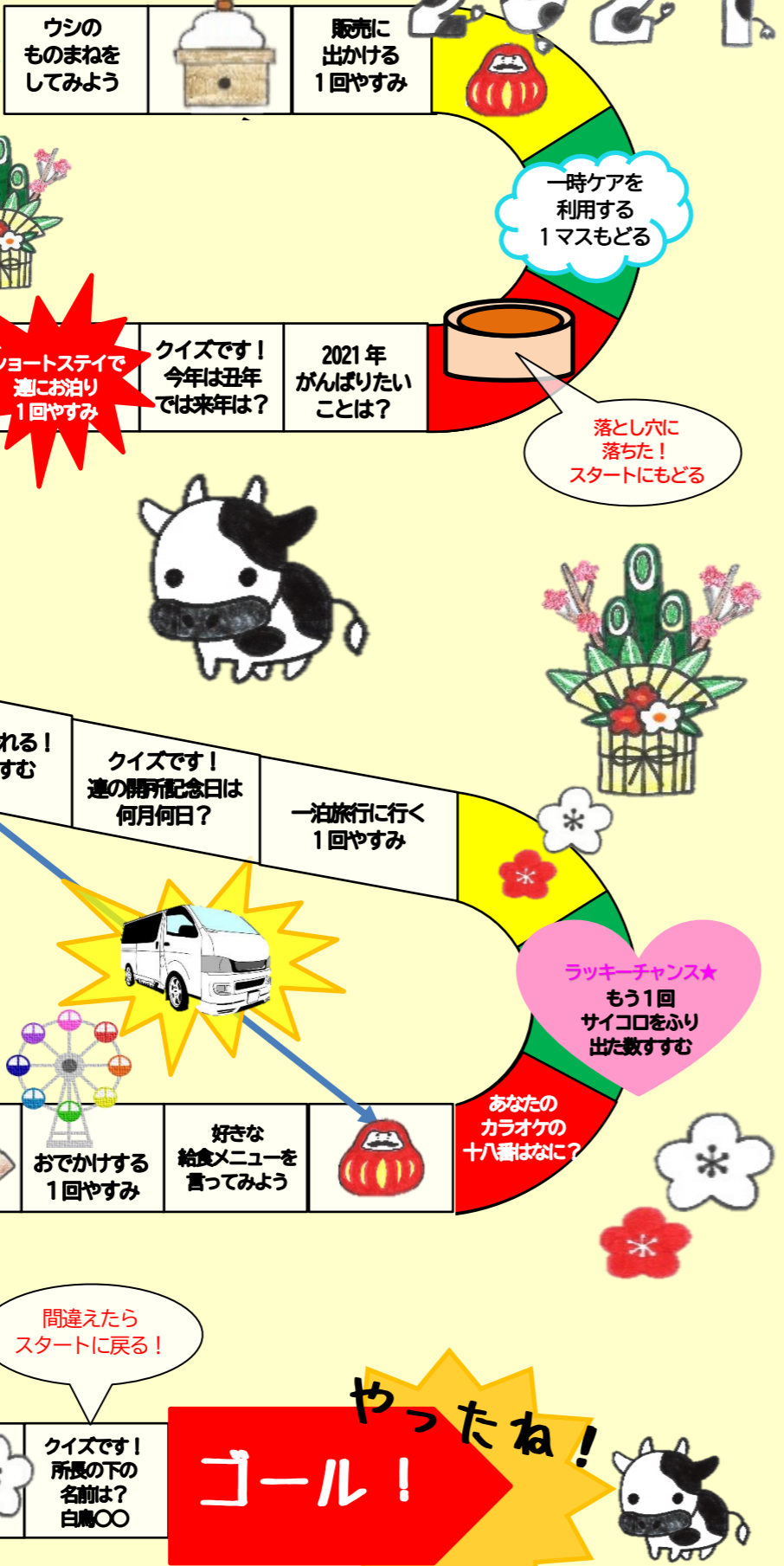
サポートセンター連 広報担当 山田 誠司

## 連すごろく

みんなで遊んでみよう!

がんばって!

スタート!



工賃日③  
もう1回サイコロをふり出た数すすむ

仕事のあとお迎えをまつ2マスもどる

ゴリラのものまねをしてみよう

※サイコロとコマは自分で用意して



# 年男・年女 令和3年の抱負

今年は

# オンライン

# 呑み!

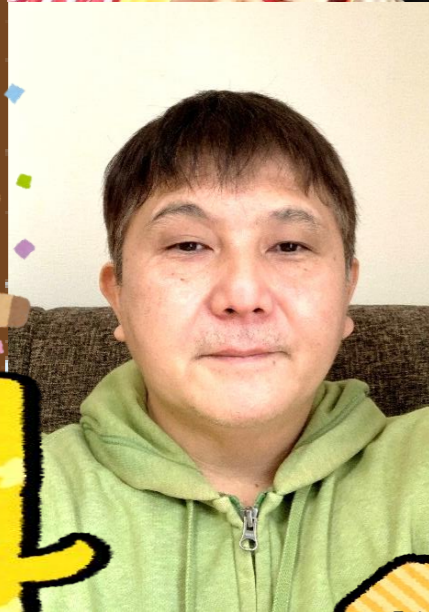
今年はちゃんと勉強して  
ケアマネの資格を取るぞ~!!  
(旭区基幹相談支援センター 箕輪)

今年はがんばって  
体重を〇〇kg減らします!!  
(ファイン西が岡 諸橋)

お客さんに喜んでもらえるよう  
製菓活動がんばります!!  
(工房1 中橋)

今年は美味しいものを  
たくさん食べて  
笑顔で過ごしたい。  
(工房1 篠崎)

4回目の年男になります。  
やりたいこと全部トライして  
充実した日々を送りたいと  
思います。(日中活動 石井)



コロナ禍を健康で乗り切りたい。あと、料理のレパートリーを増やしたい。  
(ファイン西が岡 高本)

仕事はスキルアップできるように、頑張りたいです!  
プライベートはBIGBANGのLIVEに「モ〜」行きたい!  
(日中活動 藤田)

「自愛平生道」何げない  
1日1日こそ感謝して大切に生きていきたいと  
思います。  
(日中活動 松浦)

目の前の幸せを感じながら、1日1日を過ごすことを忘れずにして  
いきたいと  
思います。  
(グループホーム 生山)

パンの外販を、これまで以上に頑張りたい  
(工房2 板宮)

